

高アントシアンかんしょ「アヤマラサキ」の育成

山川 理・熊谷 亨・吉永 優 (九州農業試験場)

Osamu YAMAKAWA, Tooru KUMAGAI and Masaru YOSHINAGA :
A New Sweetpotato Cultivar "Ayamurasaki"

かんしょを基幹作物とする南九州の畑作農業はでん粉原料用かんしょの栽培を中心として地域経済の維持・発展に重要な役割を果たしてきたが、でん粉の輸入自由化や農業の高齢化による労働力の減少等によってかんしょの作付面積は次第に減少しており、地域経済にとって深刻な問題となっている。こうした状況を打破するため、かんしょの多様な需要に対して新品種を開発し、でん粉用から他用途へと生産の転換を図り、かんしょの消費構造を革新することが望まれている。「アヤマラサキ」は九州農業試験場と民間企業との共同研究の結果育成された色素利用向け品種であり、収量性や塊根中のアントシアン色素量について在来品種やこれまでの育成系統のなかで最も優れている。

1. 来歴および育成経過

「アヤマラサキ」は、アントシアン系統で、いもの外観や形状の整否に優れている「九州109号」を母、低糖でいもの外観がよく、多収の「サツマヒカリ」を父とした交配組合せから選抜した品種である。1993年に「九州113号」の系統名を付し関係機関配布し地域適応性を検討した結果、諸特性が他系統に比べて特に優れていたため、1995年9月に「かんしょ農林47号」(アヤマラサキ)として命名登録された。

2. 特性の概要

萌芽の遅速は中、萌芽揃いの整否はやや不整、伸長の遅速は中で、萌芽の多少はやや多である。本圃における草型は匍匐型、茎の太さはやや細く、茎の着色は微、毛茸は多である。茎長および分枝数はいずれも中である。頂葉色は紫褐、葉色は緑、葉の大きさはやや小で、葉形は単欠刻浅裂である。

しょ梗の長さおよび強さは中、いもの形状は長紡錘形で大きさは中、いもの形状整否はやや整、大小整否は中で、外観はやや上である。条溝や裂開はないが、皮脈が少し発生する。いもの皮色は暗赤紫で、肉色は濃紫である。

育成地における上いも重は「高系14号」や「九州109号」を上回る。切干歩合も「高系14号」より3%高く、でん粉歩留は「九州109号」より約4%高い。

鹿児島、愛媛県の系統適応性検定試験においては、上いも重は、「高系14号」より若干少なかった。

蒸いものブリックスは「高系14号」や「九州109号」よりやや低い。塊根に含まれるアントシアン量の指標となる色価は「九州109号」の約1.5倍であり、極めて高い。また、高速液体クロマト分析による色素パターンに

ついて、ピークの数是不変変わらないが、「九州113号」は在来品種の「山川紫」や育成系統の「九州109号」に比べて前半部分のピークの割合が多く、後半部分のピークの割合が「九州109号」や「山川紫」よりもやや少ない。

ネコブセンチュウ抵抗性は静岡県農試ではやや弱であったが、累年成績のある育成地ではやや強である。ミナミネグサレセンチュウ抵抗性および黒斑病抵抗性は中である。貯蔵性は「高系14号」並みのやや易である。

3. 適地および栽培上の注意

従来のアントシアン品種に比べ、アントシアン含有量、収量性、切干歩合とも格段に優れるため、かんしょアントシアン色素を抽出利用する地域、紫色のかんしょペーストを生産する地域などに適するが、特に南九州において適応性が高い。

栽培上の注意としては、ミナミネグサレセンチュウ抵抗性および黒斑病抵抗性が中であるため、これら病害の劇発地では防除に努める。マルチ栽培条件下ではいもが長くなりやすいため、掘取り深度に留意する。

4. 命名の由来および育成従事者

「アヤマラサキ」(漢字名:彩紫)という名称は、このかんしょが鮮やかな紫の色素を多量に含み、私たちの食生活を美しく彩る役割を果たすことに因む。

育成従事者は、山川 理、吉永 優、小巻克巳、日高操、熊谷 亨、交配担当者は佃 和民、梅村芳樹、熊谷 亨である。

第1表 「アヤマラサキ」の主要特性 (育成地)

特 性 名	品 種 又 は 系 統 名		
	アヤマラサキ	九州109号	高系14号
萌芽性	中	中	不良
いもの形状	長紡錘形	長紡錘形	紡錘形
いもの大小	中	中	中
いもの皮色	暗赤紫	暗赤紫	赤
いもの肉色	濃紫	濃紫	黄白
いもの外観	やや上	やや上	中
病虫害抵抗性			
黒斑病	中	中	弱
ネコブセンチュウ	やや強	やや強	やや弱
ネグサレセンチュウ	中	やや強	やや弱
貯蔵性	やや易	易	やや易
色素含量 (色価)	9.2	5.8	—
上いも収量	192kg/a	124kg/a	174kg/a
鹿児島農試	201	151	243
切干歩合	35.1%	30.0%	32.1%
鹿児島農試	35.7	32.3	35.0